



力を合わせて塩づくりに取り組む児童たち

海の恵み伝統の塩づくりを体験

■塩づくり体験

相良小学校の6年生90人が6月6日、相良海岸にある、さがら塩づくり体験工房「茶々塩屋敷」で塩づくり体験をしました。

児童たちは、市生涯学習ボランティア団体「スマイル」の指導を受け、伝統の揚浜式による塩づくりに挑戦。マンガやモッコウなどといった、慣れない道具に苦労しながらも、みんなで協力してたくさんの塩を作りました。

スマイルの犬石通之さんは「塩の大切さを知り、地元の伝統を伝えてほしい」と話しました。

消費者のみなさんの力になりたい

■平成28年度静岡県消費者支援知事褒賞受賞

市消費者協会（谷本聖子代表）が平成28年度静岡県消費者支援知事褒賞を受賞。6月6日に市役所榑原庁舎を訪れ、市長に受賞の報告をしました。

市消費者協会は、高齢者への消費者被害防止啓発や中学校などでの消費者教育出張講座、消費生活展、街頭でのキャンペーンなど、積極的に活動しています。

講座では寸劇やグループワークなど、参加型の講座を実施しており、体感できる消費者教育に取り組んでいます。



市長に受賞の報告をする市消費者協会のメンバー

みんなで育てたおいもはおいしいね

■じゃがいも掘り

地頭方保育園は6月14日、園内にある畑でじゃがいも掘りを行い、4歳から5歳の園児25人が参加しました。

じゃがいもは、春先に園児たちが種芋から育て、草取りや水やりを行い大事に育てたものです。

岩堀朱実園長は「自分たちで野菜の成長を見守りながら一生懸命育てることで、自然の恵みの大切さを知ってもらいたい」と話しました。

収穫後には、みんなでこのじゃがいもを使ってカレーなどを作りおいしく食べました。



自分たちで育ててきたじゃがいもを収穫する園児たち



丹沢先生の指導を受けながら実験を楽しむ児童たち

実験って楽しい

■2016山崎サイエンススクール

子どもたちが実験や体験、観察などを通して理科や科学を楽しく学ぶ「山崎サイエンススクール2016」が6月11日、い〜らで行われました。

この学習会は、年10回程のプログラムで毎年開催。今回は、丹沢哲郎静岡大学副学長が講師で、「空気の秘密を探ろう」をテーマに、室内や屋外を使い実験学習が行われました。

参加した児童らは、先生の話に真剣に耳を傾けながら実験や体験などを行い、空気の秘密について楽しく学びました。



ログスポットを目指し静波海岸をスタートする参加者たち

世界初の自転車イベント開催

■牧之原グリーンティーカップ2016

牧之原グリーンティーカップ2016が、6月5日に開催されました。

イベントは、スマホに専用アプリをダウンロードし、6時間の制限時間内に市内99カ所のログスポットを巡り、ポイントを獲得していく世界初の自転車オリエンテーリングです。

県内外から参加した約140人が、市内の観光スポットや茶園、カフェなどを自転車で巡り競いました。また、静波海岸の会場では、歌やダンスのステージイベントなども行われ、たくさんの人でにぎわいました。

大会実行委員長の今西花緒利さんは「たくさんの人に参加してもらい、牧之原市の良さを実感してもらえたはず」と話しました。

みんなできれいな海を守ろう

■海岸清掃

片浜小学校の全校児童33人が6月1日、片浜海岸で清掃活動を行いました。

海岸清掃は、青少年赤十字（JRC）活動の一環として、本格的な夏を前に30年以上前から毎年行われています。

児童たちは、日赤奉仕団のメンバー約30人と一緒にゴミや流木、木の枝などを用意された大きな袋がいっぱいになるまで拾い集めました。

児童は「きれいな海岸になってうれしい」と話しました。



流木や木の枝などを拾う日赤奉仕団の皆さんと児童たち



プールでの水遊びを楽しむ園児たち

待ちに待ったプールに歓声

■プール開き

地頭方幼稚園は6月1日にプール開きを行い、園児37人が園内のプールで水遊びを楽しみました。

プールに入る前には、事故が起きないようにプールで遊ぶための決まり事について、先生と園児が約束を交わしました。

体操をした後、足首程度の高さに水を張ったプール内で水遊びが始まると、園児たちは水を掛け合ったり仰向けに寝転がったりするなど大喜び。「冷たい」「楽しい」とはじける笑顔で、今年初めてのプールを満喫しました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp